

3-1. 令和4年度 有明の丘研修 第2期の実施報告

●実施スケジュール

1月6日から3月5日までの期間を6クールに分け、1クールごとに1～2コース割り当てる。

コースごとに、オンデマンド講義の受講期間を**3週間**設け、2～3日後に半日程度の演習をリアルタイム形式で実施する。

	1月														2月														3月																													
	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	01	02	03	04
1	講義（自己学習） ①防災基礎														演習	講義（復習）																																										
2	講義（自己学習） ⑧対策立案														演習	講義（復習）																																										
	講義（自己学習） ⑩総合監理														演習	講義（復習）																																										
3	講義（自己学習） ⑦指揮統制														演習	講義（復習）																																										
	講義（自己学習） ⑨人材育成														演習	講義（復習）																																										
4	講義（自己学習） ②災害への備え														演習	講義（復習）																																										
	講義（自己学習） ③警報避難														演習	講義（復習）																																										
5	講義（自己学習） ⑥復旧・復興														演習	講義（復習）																																										
	講義（自己学習） ④応急活動・資源管理														演習	講義（復習）																																										
6	講義（自己学習） ⑤被災者支援														演習	講義（復習）																																										

令和4年度有明の丘（第2期） 各コースのカリキュラム

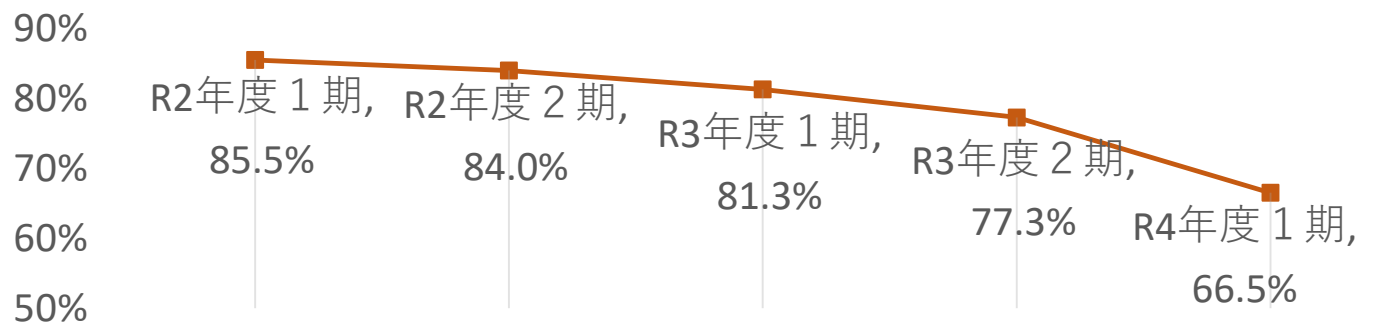
各コースのオンデマンド講義及びリアルタイム演習について、実施日、カリキュラム統は下記の通りである。

		赤字: 2期より変更・追加	緑色: 法改正・ガイドラインの反映	水色: 男女共同参画の視点を拡充した単元	赤色: 個別避難計画で拡充した単元						3/2時点		
コース	防災基礎	災害への備え	警報避難	応急活動・資源管理	被災者支援	復旧・復興	指揮統制	対策立案	人材育成	総合監理			
日程	1月6日(金) ～22日(日)	1月30日(月) ～2月12日(日)	1月30日(月) ～2月12日(日)	2月6日(月) ～2月19日(日)	2月13日(月) ～2月26日(日)	2月6日(月) ～2月19日(日)	1月23日(月) ～2月5日(日)	2月16日(月) ～2月29日(日)	1月23日(月) ～2月5日(日)	2月16日(月) ～2月29日(日)			
オンデマンド講義	1 防災基礎総論	1 「災害への備え」総論	1 警報避難総論	1 応急活動・資源管理総論	1 被災者支援総論	1 復旧・復興総論	1 指揮統制総論 (世界標準に則した指揮統制)	1 対策立案総論	1 人材育成総論	1 総合防災政策			
	2-1 ハザードのメカニズムと実態 (風水害)	2 地域防災計画・地区防災計画・個別避難計画	2 警報等の種類と内容	2 初動対応における国との連携	2 災害救助法と被災者生活再建支援法	2 公共基盤の復旧 (基礎復興Ⅰ)	2 指揮統制の世界標準 (危機対応に必要な役割(部門)と機能)	2 指揮統制の世界標準 (危機対応に必要な役割(部門)と機能)	2 訓練・研修の実際	2 総合的な被害抑止施策の実施			
	2-2 ハザードのメカニズムと実態 (火山災害)	3 防災教育・災害教訓の伝承	3 避難情報の発令判断・伝達等	3 地方公共団体間の相互応援と受援体制	3 避難所のライフサイクル	3 仮設住宅 (生活復興Ⅰ)	3 指揮統制の現状	3 災害対策本部が行う対策立案プロセス	3 訓練・研修企画手法	3 リスク評価に基づく災害対応の検証			
	2-3 ハザードのメカニズムと実態 (地震・津波災害)	4 企業防災	4 土砂災害における警報と避難	4 災害廃棄物処理	4 避難所運営の実際	4 コミュニティ再生 (社会復興)	4 日本社会に適した指揮統制のあり方 (危機対応組織を動かす6つの視点と14の原則)	4 地図による状況認識の統一とISUTの試み	4 訓練企画運営実践Ⅰ (状況付与型上演演習)	4 応急対策の実態			
	3 地域の脆弱性と被害の実態	5 行政のBCP、BCM	5 土砂災害の事例に学ぶ	5 救援物資の調達/救援物資の輸配送	5 要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	5 市街地の復興まちづくり (基礎復興Ⅱ)	5 リーダーシップのあり方	5 応急期の政府支援	5 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法	5 地域防災リーダーの育成	5 大規模災害の検証と対応		
	4-1 防災行政概要	6 住民啓発	6 風水害における警報と避難	6 活動拠点・環境の確保	6 医療による被災者支援	6 住まいの再建 (生活復興Ⅱ)	6 参謀としての災害対策本部運営	6 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法	6 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法	6 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法	6 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法		
	4-2 災害法体系	7 地域の自主的な防災活動	7 風水害からの警報避難における決心	7 救援物資ロジスティクス演習	7 多様な主体による被災者支援/被災者支援の個別課題	7 地域産業の復興と雇用確保 (産業復興)	7 災害広報	7 災害対策本部運営演習	7 災害対策本部運営演習	7 災害対策本部運営演習	7 災害対策本部運営演習		
	4-3 防災計画	8 災害ボランティア	8 南海トラフ地震臨時情報	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務	8 生活再建支援業務		
	5 災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興～	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画	9 個別避難行動の支援と計画		
		10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断	10 避難場所・避難所の認定と適否判断		
リアルタイム演習	12:30～ オリエンテーション	12:30～ オリエンテーション 受講者自己紹介	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介	13:00～ オリエンテーション	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介	10:00～ オリエンテーション	13:00～ オリエンテーション 受講者自己紹介		
	12:35～ グループ討議＋発表 ・講師コメント ・解説 ・質疑応答(×3回)	12:50～ グループ討議＋発表(質問) ・解説	13:25～ 解説 ・意見交換	13:20～ グループ討議＋発表(×3回) ・解説	13:05～ 講義 ・ビデオ視聴 ・自習 ・グループ演習	13:20～ トイレの演習	13:05～ 講義 ・ビデオ視聴 ・自習 ・グループ演習	13:50～ 記者会見・講評 発表 ・個人作業 ・質疑応答	13:50～ 記者会見・講評 発表 ・個人作業 ・質疑応答	10:10～ グループ討議＋発表 ・講評	13:25～ 講義(30分)×2人 ・グループ討議(2回)		
		14:15～ グループ討議＋発表	14:00～ グループ討議＋発表 ・講師コメント	15:35～ 各単元の質問への解説・回答	15:05～ 講義 ・グループ討議＋発表	15:05～ 全体討論「コースのふりかえり」	15:05～ 講義 ・グループ討議＋発表	15:20～ グループ討議＋発表(質問) ・質問への回答 ・テスト問題作成等	15:35～ グループ討議＋発表(質問) ・質問への回答 ・テスト問題作成等	13:00～ テーマごとに部屋を作り情報交換	16:25～ 質疑応答・意見交換 ・講義		
		15:35～ 質疑応答	15:50～ 質疑応答	16:20～ グループ交流			16:30～ 質疑応答			14:10～ 人材育成プログラム作成演習 ・オンライン活用事例紹介 ・グループ討議＋発表 ・講師コメント(×2回)			
	16:30～ 講師を交えてフリートーク (自由参加)	1/31 13:30～ 14:30 当日～ 17:00 <LMS開始時> オープニング交流会 質疑応答・交流会(自由参加)	16:30～ 自由交流会(自由参加)	2/7 13:00～ 13:45 <LMS開始時> 交流会	2/9 10:00～ 12:00 <LMS開始時> オープニング交流会	2/6 13:00～ 14:30 <LMS開始時> 研修生オンライン交流会	2/6 13:00～ 14:30 <LMS開始時> 研修生オンライン交流会	～17:30 質問会(自由参加)	～17:30 質問会(自由参加)	1/19 10:00～ 11:30 <LMS開始時> オープニング交流会			
定員数	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人	60人		

■令和4年度1期までの修了状況の推移

(令和4年12月01日集計)

コース名	R2年度 1期	R2年度 2期	R3年度 1期	R3年度 2期	R4年度 1期
①防災基礎	83.3%	90.0%	86.7%	76.6%	62.7%
②災害への備え	90.0%	83.3%	90.0%	71.7%	72.9%
③警報避難	81.7%	90.0%	81.6%	71.7%	65.0%
④応急活動・資源管理	81.7%	80.0%	93.3%	83.3%	69.5%
⑤被災者支援	85.0%	81.7%	78.3%	73.3%	70.0%
⑥復旧・復興	90.0%	78.3%	66.6%	76.6%	56.7%
⑦指揮統制	91.7%	78.3%	83.3%	80.0%	56.7%
⑧対策立案	81.7%	83.3%	75.0%	75.0%	75.0%
⑨人材育成	81.7%	83.3%	85.0%	81.6%	70.0%
⑩総合監理	88.3%	91.7%	73.3%	83.3%	66.7%
平均	85.5%	84.0%	81.3%	77.3%	66.5%



●修了状況の改善に向けた取り組みの状況

令和4年度第1期に全体の修了率が10%以上低下したことを受けて、令和4年度第2期では修了率改善のため、以下の取組を実施した。

1. 募集要項の見直し

- コース修了の要件を募集要項に明記
- 受講申込に際して上司等からの推薦状の提出を条件付け

2. 事務局から受講者への連絡体制の見直し

- 研修スケジュールを明確にし、受講決定後速やかに受講者に連絡
- 座学の受講開始、演習日の1週間前、演習の前日等にリマインド連絡
- 各時点での受講進捗率が低い受講者へ個別にフォロー連絡

3. 参事官からのメッセージ

- メールにて座学、演習の受講を促進する参事官メッセージを送付
- オープニング交流会等にて参事官から受講者に計画的な履修を呼び掛け

■有明の丘研修 R4年度2期の応募状況（1期との比較）

2022.12.27時点

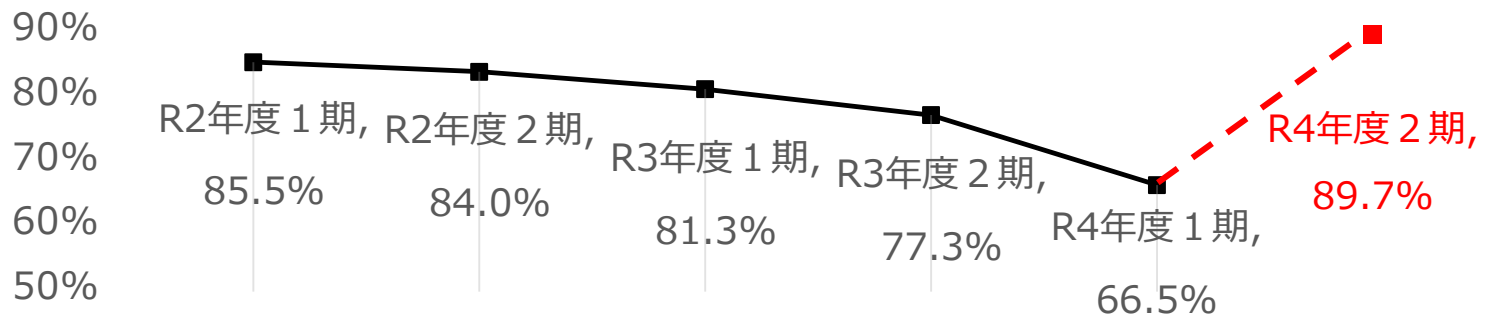
コース	2期			1期（比較）		
	応募者数 (a)	受講者数 (b)	倍率 (a) / 60	応募者数 (c)	倍率 (c) / 60	増減 (c) - (a)
防災基礎	144	60	2.40倍	332	5.53倍	▲3.13
災害への備え	139	60	2.32倍	273	4.55倍	▲2.23
警報避難	107	60	1.78倍	214	3.57倍	▲1.79
応急活動・資源管理	105	60	1.75倍	178	2.97倍	▲1.22
被災者支援	99	60	1.65倍	177	2.95倍	▲1.30
復旧・復興	59	55	0.98倍	100	1.67倍	▲0.65
指揮統制	79	60	1.32倍	136	2.27倍	▲0.95
対策立案	101	60	1.68倍	171	2.85倍	▲1.17
人材育成	63	60	1.05倍	107	1.78倍	▲0.73
総合監理	62	58	1.03倍	94	1.57倍	▲0.54

- 募集要項の見直し（特に、受講申込の条件として推薦状の提出を必須としたこと）により、全コースにおいて倍率が減少した。
- 推薦状を期間中に提出できず「受講辞退」となった申込者が数名いた。

■令和4年度2期までの修了状況の推移

(令和5年2月24日集計 ※R4年度2期は見込値)

コース名	R2年度 1期	R2年度 2期	R3年度 1期	R3年度 2期	R4年度 1期	R4年度 2期
①防災基礎	83.3%	90.0%	86.7%	76.6%	62.7%	91.7%
②災害への備え	90.0%	83.3%	90.0%	71.7%	72.9%	91.7%
③警報避難	81.7%	90.0%	81.6%	71.7%	65.0%	93.3%
④応急活動・資源管理	81.7%	80.0%	93.3%	83.3%	69.5%	91.7%
⑤被災者支援	85.0%	81.7%	78.3%	73.3%	70.0%	-
⑥復旧・復興	90.0%	78.3%	66.6%	76.6%	56.7%	87.3%
⑦指揮統制	91.7%	78.3%	83.3%	80.0%	56.7%	86.7%
⑧対策立案	81.7%	83.3%	75.0%	75.0%	75.0%	86.7%
⑨人材育成	81.7%	83.3%	85.0%	81.6%	70.0%	85.0%
⑩総合監理	88.3%	91.7%	73.3%	83.3%	66.7%	93.1%
平均	85.5%	84.0%	81.3%	77.3%	66.5%	89.7%



3-2. 有明の丘研修のリニューアル案

防災基礎

●防災基礎

(完全オンデマンド・全コースで受講必須)

災害対策 (オペレーション)

災害への備え

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

各論

各論

各論

演習

警報避難

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

演習

応急活動資源管理

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

各論

各論

各論

演習

被災者支援

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

各論

各論

演習

復旧復興

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

各論

各論

各論

演習

組織運営 (マネジメント)

指揮統制

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

対策立案

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

人材育成

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

演習

総合監理

概論

各論

各論

各論

各論

各論

各論

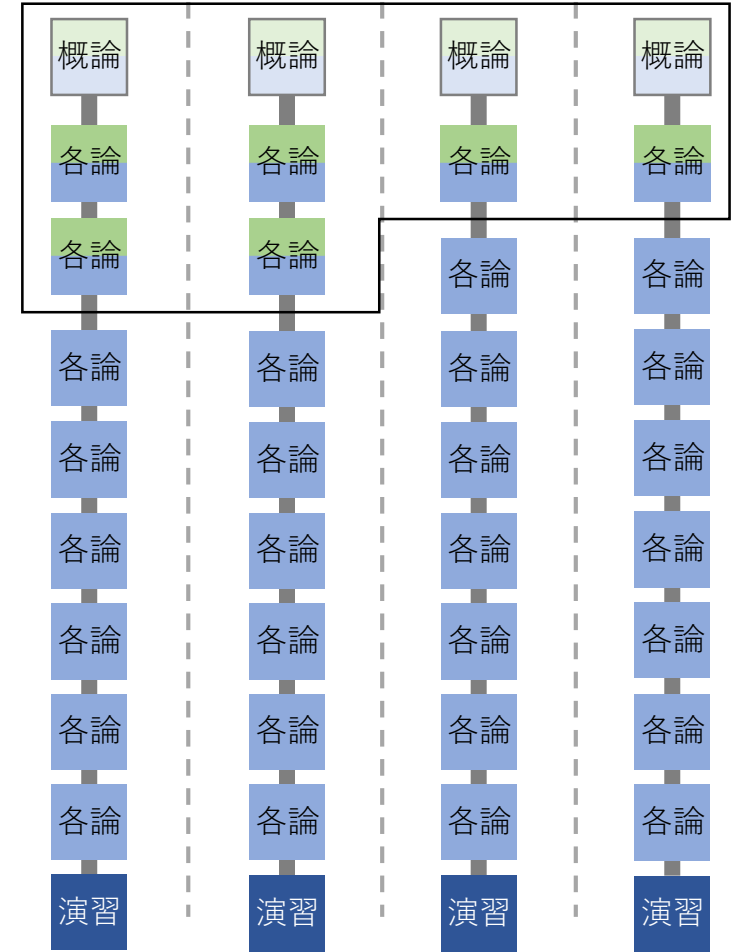
各論

各論

各論

演習

●組織運営入門 (一般管理向け・受講推奨)



●災害対策横断 (上級管理向け・受講必須)

各論

各論

各論

各論

各論

実務担当

一般管理

上級管理

3-2. 有明の丘研修のリニューアル案（1）

■防災基礎コースのリニューアル

初学者向けである防災基礎コースが、受講者定員（年間120名）の制限のために最大倍率となり、必ずしも最初に受講することができない状況が課題であった。

➡防災基礎コースを完全オンデマンド化することで定員による制限をなくした

●防災基礎コースの完全オンデマンド化に伴う必履修化

- 他9コースの申込時に**防災基礎コースの修了を必須要件としてはどうか**
- R5年度は移行措置として、防災基礎コース未修了者は他コースと防災基礎コースを同時に申し込むことも可能としてはどうか

■防災基礎を除く9コースのリニューアル

防災基礎コースのみならず、災害対策系5コース（災害への備え、警報避難、応急活動・資源管理、被災者支援、復旧・復興）においても倍率が高く、より受講ニーズの高い受講者が必ずしも受講することができない状況が課題であった。

➡有明の丘研修受講者像を3つの職位「実務担当」「一般管理」「上級管理」と設定

➡職位別の推奨メニューを示すことを検討してきた

●災害対策（オペレーション）5コースに職位別の修了認定を追加

- 災害対策5コースは、**実務担当向け**と**一般管理向け**の**職位に応じた座学と演習**を実施し、**職位別の修了認定を行う**こととしてはどうか
 - ➡各コースの**受講者定員**が年間120名から240名に**拡大**
- 実務担当向けコース修了者は、一般管理向けを受講する際に、共通講義の受講を免除してはどうか

3-2. 有明の丘研修のリニューアル案（2）

職位別推奨メニューの検討において、災害対策本部の班長等にあたる「一般管理」は組織運営（マネジメント）4コース（指揮統制、対策立案、人材育成、総合監理）の基礎的な知識を学習する必要があるとの考えを示してきた。

●一般管理向けに、組織運営4コースの概論等講義の受講推奨

- 一般管理向けコースにおいて、**組織運営4コースの概論等を受講推奨**の講義として受講者に提示してはどうか

首長の参謀役となる「上級管理」は、災害対策（オペレーション）5コースの実務にも精通する必要があるとの考えを示してきた。第4回検討会までの議論では、各コースの概論を受講することとしていたが、概論は各コースの入門的な内容であり、上級管理向けの講義は新規に作る必要があるとの委員からのコメントがあった。

●上級管理向けに、災害対策5コースの横断的講義の必履修化

- 上級管理向けコースでは、**災害対策5コースにおける上級管理向けの単元（座学）を新規に作成し、受講必須**としてはどうか
- 災害対策5コースにおける上級管理向け単元では、組織や分野を横断する統合指揮（Unified Command）の視点から、講義を作成してはどうか
- 災害対策5コースにおける上級管理向け単元では、各コースの業務構造をWBS（Work Breakdown Structure Diagram）等から読み取る学習も行ってはどうか

3-2. 有明の丘研修のリニューアル案（3）

■ 職位別/地域防災MGパッケージの実装

● 職位別パッケージ

- ・ 実務担当や一般管理が災害対策5コースを受講しようとした時に、現状の倍率では1年（2期）で4コース以上受講することがほぼ不可能。

令和3年度（OJT除く）：5コース受講者 0名／災害対策5コース応募者 67名
令和4年度（OJT除く）：5コース受講者 1名／災害対策5コース応募者 57名

- ➔ **災害対策5コースを1年間で受講**完了できるよう、**優先枠**を設ける

「実務担当パッケージ」「一般管理パッケージ」を実装してはどうか

- ・ 上級管理が組織運営4コースを1年で受講しようとした時にも同様に、現状の倍率では1年（2期）で4コースを受講することがほぼ不可能。

令和3年度（OJT除く）：4コース受講者 2名／組織運営4コース応募者 63名
令和4年度（OJT除く）：4コース受講者 0名／組織運営4コース応募者 56名

- ➔ **組織運営4コースを1年間で受講**完了できるよう、**優先枠**を設ける

「上級管理パッケージ」を実装してはどうか

● 地域防災マネージャー・パッケージ

- ・ 地域防災マネージャーの認定を目指して、防災基礎を除く9コースを受講しようとした時に、現状の倍率では1年（2期）で全て受講することができない。

令和3年度（OJT除く）：9コース受講者 0名／9コース応募者 42名
令和4年度（OJT除く）：9コース受講者 0名／9コース応募者 44名

- ➔ **9コースを1年間で受講**完了できるよう、**優先枠**を設ける

「地域防災マネージャー・パッケージ」を実装してはどうか

■ 職位別 / 地域防災MG パッケージによる優先枠の設定

災害対策5コース

実務担当演習：年120名

実務担当パッケージ枠：上限60名

一般枠：残り定員数（OJT優先枠含む）

一般管理演習：年120名

一般管理パッケージ枠：上限40名

地域防災MGパッケージ枠：上限30名

一般枠：残り定員数（OJT優先枠含む）

組織運営4コース

上級管理演習：年120名

上級管理パッケージ枠：上限20名

地域防災MGパッケージ枠：上限30名

一般枠：残り定員数（OJT優先枠含む）

- 職位別コース（演習）の実施により、**受講者が1080名から1680名に拡大**
➡拡大枠も活用してパッケージを実装
- 職位別パッケージは年最大120名の優先受講枠を用意（実務担当60名、一般管理40名、上級管理20名）
- 地域防災MGパッケージは年最大30名の優先受講枠を用意

3-3. 段階的なりリニューアルと令和5年度の開催方針

OR5年度から実装

1. 防災基礎コースの完全オンデマンド化と必履修化

- ・オンデマンド講義の時間の標準化、単元構成・学習目標の見直し
- ・完全オンデマンド（多肢選択テストによる修了認定）の開始
- ・防災基礎コースの修了を他コース応募時の必須条件とする（R5は同時受講可）

2. 災害対策5コースでの職位別演習の開始

- ・災害対策5コースにおいて、職位別（実務担当／一般管理）の演習を実施

3. 職位別 / 地域防災MG パッケージの募集開始

- ・災害対策5コースを1年で受講する実務担当／一般管理向けパッケージを設置
- ・組織運営4コースを1年で受講する上級管理向けパッケージを設置
- ・全9コースを1年で受講する地域防災マネージャー・パッケージを設置

OR6年度以降に実装

4. 災害対策5コースの職位別座学の開始

- ・オンデマンド講義の時間の標準化、単元構成・学習目標の見直し
- ・職位別（実務担当／一般管理／上級管理）の単元構成を設定

5. 組織運営4コースの講義内容見直し

- ・オンデマンド講義の時間の標準化、単元構成・学習目標の見直し
- ・一般管理向けの受講推奨講義を設定

3-4. 各コースリニューアルの進め方

■ 受託者 ■ 内閣府

①コースリニューアルの設計												
有明1期開始までのスケジュール検討												
「コース見直し案」の確定												
「IDに準じた単元への見直しに関する説明資料」の作成												
WG意見照会⇒反映⇒内閣府へ説明資料の提供												
内閣府内での説明会及び講義資料の修正 ※学習目標も見直し												
②コースリニューアルの準備												
講師への説明(コース見直し、ID、演習の座学化等)												
[各講師]講義資料作成・テストの作成												
講義資料のフォーマット確認(ID、学習目標、テスト等)・修正依頼												
講義動画の撮影												
講義動画の編集												
編集済み講義動画の講師への確認・修正												
学習システム(LMS)の準備・掲載												
③(新年度)受講者の募集等												
募集要綱の作成、都道府県への通知												
ホームページの情報掲載、パンフレットの作成												
受講者募集												
受講者情報の整理、LMSへの登録												
受講確定通知												
受講情報(ログインID・PW)の案内												

概ね6か月かけてリニューアルを実施する計画